

私立大学情報教育協会
平成29年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

A-2班 シナジーダイナ SynergyDyne

グループ「シナジーダイン」の紹介

名前の由来

シナジー（共働による相乗効果）と、映画「ターミネーター」で登場するAIロボット「スカイネット」を開発した会社サイバーダイン社の「ダイン」（力の単位）を融合

メンバー

研究推進課 1名、財務経理課 1名、情報センター課 1名、
教務課 2名 → 管理分野 3名、教学分野 2名 計 5名

発表テーマ

シナジューはエナジュー
—教職協働で大学に活力を！—

テーマ選定理由(1) 大学の役割

国の基盤となる
教育・研究の推進

地域・社会貢献

社会を牽引する
イノベーション

地域・産官連携による
知の拠点

武器輸出規制等の
安全保障

多種のステーク
ホルダーへの対応

建学の精神に基づき、
時代の要請を加味した教育・研究の実践

テーマ選定理由(2) 大学の現状

少子高齢化の進行

2018年からの
18歳人口の減少

大学間競争の
激化

求められる教育の質
保証と情報公開



グローバル化による
ボーダレス化

多様なタイプの
学生が入学

学生の基礎学力
コミュニケーション力の不足

AIやIoTなど
急速な技術革新

経済格差

教職員が協働で大学の役割や現状を改めて考
え、問題を解決する必要がある

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

教職協働によるシナジー【相乗効果】
による大学の活性化

限られたリソースで最大の効果を得る



シナジーはエネルギー



問題点の深堀

多様な問題は、職員だけ・教員だけでは解決できない

時間的余裕がない

大学の方向性を議論できるほど
知識がない

大学の在り方を話し合う場がない



解決策の検討

大学としての取り組み

大学の役割や現状についての知識を全学的に共有

職員の役割

俯瞰的な視点に立った

教員の役割

教育・研究

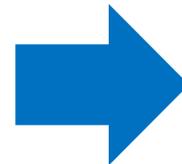


解決策実現のためのハードル



時間がない

職員視点・教員視点
だけで考えがち



打開策

業務を効率化し時間を作る

お互いのことを知って
共に解決する

大学のイノベーションの提案

教職員ポータルサイトの活用

1

教職員間でファイル共有、資料共有、電子決済、電子申請

業務の効率化により、時間的・精神的余裕ができる

2

ポータルニュースの発信で知識共有（ニュースはAIが収集）

知識の共有で教職員間のコミュニケーションを活性化する

3

業務や知識の共有内容を議論する場を設ける

大学の役割や在り方などを議論することができる

大学のイノベーションの提案

もし、解決されたら…？

◆時間的・精神的余裕が生まれる。教員・職員が一体（相乗効果）となり、大学の役割、在り方を議論する。

◆このように協働することによって、社会や時代の要請に応えられる大学づくりを行える

◆これにより社会の要請に応える人材の育成をも行うことができる！！

